

健康交差点

企画：日本医師会
No. 52

健康交差点では、皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしています。医療に関する川柳も募集しています。

日本医師会
「健康交差点」

〒113-8621 東京都文京区
本駒込2-28-16
FAX: 03-3946-6295
Eメール: kousaten@po.med.or.jp

息子からもらった健康法

イルカ (シンガーソングライター・国際自然保護連合(IUCN)親善大使)

大

人しくて泣き虫、一人遊びが苦に
ならない動物好きの小学生だった

私は、中学生になって、別人のように活

発になった。中一の時にビートルズに出

会い、彼らのレコードを昼休みに放送室

で流したり、学園祭やキャ

ンプファイヤーで歌ったり

していたが、白い目で見

る先生が一人もいなかったの

は本当に幸せだった。

歌手としてデビューし、息子が生まれ、幼稚園に行つたとき、夏休み、

冬休み、春休みとして、年に五カ月休むことを始めた。今でも、休んでい

るときは時計を持たずにアジアに滞在し、自然のサイクルに身を委ねたり、

家庭人として、料理や掃除をするほか、犬や孫と遊んだり、両親との語ら

いに没頭している。そうするうちに無性に歌いたくなり、やりたいことが

どんどん出てきて、今度は仕事に集中できてバランスが良い。

これは母親になって、息子からもらった自分の健康法だと思う。



日本の医療制度について



日本の国民医療費の財源は、税金(国と地方)と保険料と患者さんの負担の三つの部分から成り立っています。

国の財政難を理由に、政府は医療費のなかの税金分を減らして、患者さんの負担分を増やそうと目論んでいます。

さらに、公的医療保険のカバーする範囲を縮小して、健康保険のきかない自費診療を増やそうとしています。昨年問題になった混合診療の導入案や、医療への株式会社参入などの考え方が、その代表的なものです。

そのモデルとなつているアメリカの医療費は日本の二倍以上で、保険に加入できない人が四千万人もいるのです。経済優先の論理が社会保障の崩壊を招くのは、火を見るより明らかなのです。